



第 63 回（平成 26 年度）

彦根市美術展覧会

アートフェスティバル ～美術と音楽のコラボ～

展 示 目 録

会 期 9 月 15 日（月・祝）～9 月 21 日（日）

※ただし、9月16日（火）は休館です。

時 間 9時30分 ～ 17時00分

会 場  ひこね市文化プラザ（彦根市野瀬町187-4）

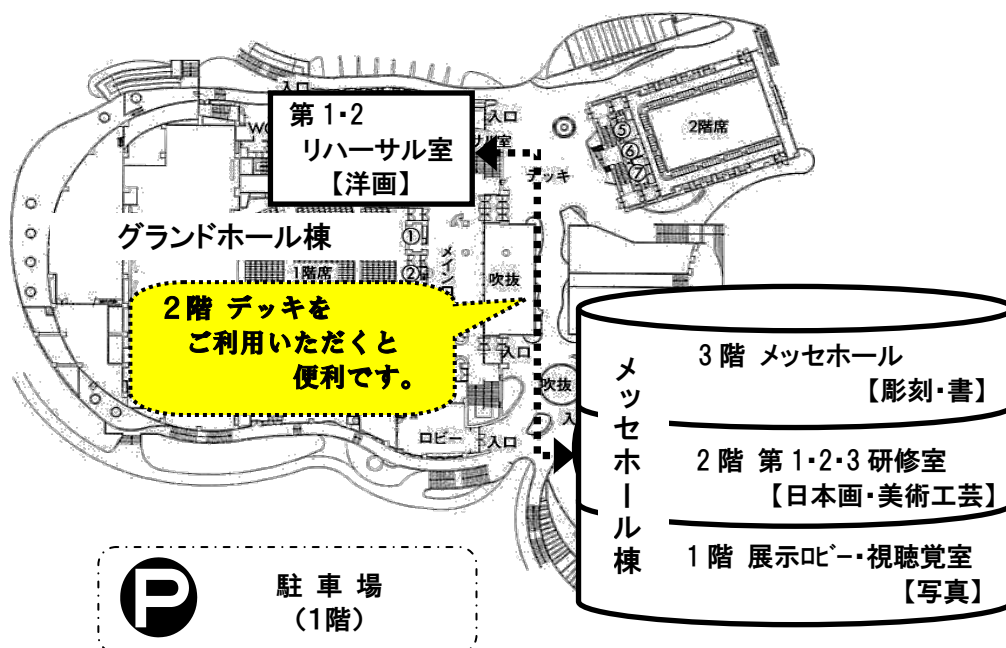
入場無料

日 本 画	第1・2研修室（メッセホール棟 2階）
洋 画	第1・2リハーサル室（グランドホール棟 2階）
彫 刻	メッセホール（メッセホール棟 3階）
美術工芸	第3研修室（メッセホール棟 2階）
書	メッセホール（メッセホール棟 3階）
写 真	展示ロビー・視聴覚室（メッセホール棟 1階）

< も く じ >

日 本 画		1
洋 画		5
彫 刻		12
美 術 工 芸		15
書		19
写 真		25

【会場案内図】（2階平面図）



日本画部門

審査員：竹内 浩一 先生

京都府出身 京都市右京区在住

1977 年	第4回山種美術館賞展 大賞受賞
1979 年	第11回日展 特選受賞
1991 年	第4回京都美術文化賞 受賞
1996 年	第9回MOA美術館 岡田茂吉大賞展 大賞受賞
2010 年	京都市文化功労賞 受賞
現 在	一般財団法人日本中国文化交流協会 常任委員 山種美術館 理事

＜総 評＞

写生を大切にして描かれた作品が多かった。日常生活の心情がこまやかに表現されていた。日本画は写生を重んじてきた。写生は生命を写すと書く。今展にも対象の生命を写しながら、自分の存在をみつめた深い作品も目についた。



■ 市展賞 ■

「花時」 北村 妙子

水辺に淡い一面の桜花が柔かいリズムを奏でている。漂う空気からは無常さを感じさせてくれる。



■ 特選 ■ <彦根市教育委員会 教育長賞>
「兆し」 岡村 康臣

何の木だろう、写実をおさえ、感覚のある筆使いで木の間に漂う木霊を探っているように見える。季の移ろいにみる兆しは、作者の心境のように感じた。



■ 特選 ■ <毎日新聞社賞>
「たけのこ」 曽我 光博

瑞々しい竹の子が新聞紙の上に数本置かれている。春の季のーシーンは描き手の喜びなのだろう。温かい色合にも魅かれる。



■ 特選 ■ <彦根市議会議長賞>
「憩う」 熊谷 滋美

鳩二羽と花を組み合わせ、鮮度のいい色合いからは、協奏曲の一小節のような美しいシーンを感じさせる。



■ 無鑑査奨励賞 ■
「時代を見た古井戸」 谷村 純子

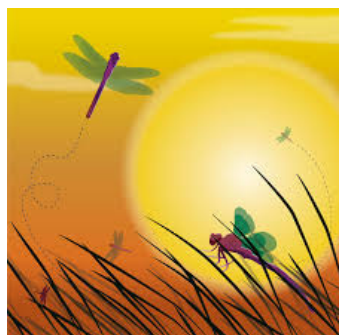
今をみつめ心の暦を回想しているのだろうか。帰去来の心境は次元が高い。何より笹のマチエールは個性的で魅力がある。

日本画部門

展示場所：第1・2研修室（メッセホール棟 2階）

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
1	佳作 特選	川 縁 り	小 泉 英 子	無 鑑 査
2		新 緑	松 本 喜 美	
3		春 う ら ら	立 江 恵 美	
4		春 の 葉 牡 丹	長 崎 典 子	
5		葦	荒 居 年 子	
6		静 寂	本 田 充	
7		街	いとうけいろう	
8		ヨ シ 原 の 蘆 筍	山 田 政 一	
9		憩 う	熊 谷 滋 美	
10		お ひ る ね	中 山 ます江	
11	特選 市展賞	肴	寺 村 や 糸	彦根市議会 議長賞
12		そ ら 豆 の 花	平 松 越	
13		春 景	澤 邊 雅 子	
14		茅 葺 の 里	杉 本 ミサ卫	
15		春 樹	北 村 幸 子	
16		水 仙	杉 本 恵 美 子	
17		芹 川 堤	大 橋 宏	
18		恵 み の 春	大 村 千 代 子	
19		つ た も み じ	成 内 節 子	
20		陽 の 恵 み	早 崎 清 美	
21	特選 市展賞	ジャーマン・アイリス	武 藤 愛 子	毎日新聞社賞 彦根市教育委員会 教育長賞
22		沈 丁 花	北 村 登 久	
23		た け の こ	曾 我 光 博	
24		兆 し	岡 村 康 臣	
25		花 時	北 村 妙 子	
26		ホ タ ル ブ ク ロ	松 居 直 子	
27		芹 堤 に 伸 び る	織 田 敦 子	
28		蔵	牧 野 昌 代	
29		青 鷺	今 居 桂 子	
30		宮 の 一 隅	小 島 充 子	

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
31	佳 作	つ る バ ラ	田 中 協 子	
32		瞑 想 道 場	小 澤 弘	
33		開 花 を 待 つ	山 岡 勝	
34		秋 の 夕 暮	丸 山 リツ子	
35		古 木 (桜)	高 田 昭 子	
36		湯 葉 処	竹 内 歌 子	
37		落 椿	滝 沢 千 代 子	
38		新 玉 ね ぎ	澤 淑 子	
39		冬 枯 の 季	長 谷 川 み よ	
40		蓮	馬 場 初 代	
41	無鑑査奨励賞	山 牛 蒡	志 摩 ま ゆ み	無 鑑 査 無 鑑 査 審 査 員 委 員 員
42		ゆ き の し た	石 原 み ち 子	
43		刻 を 思 う	深 田 澄 江	
44		時 代 を 見 た 古 井 戸	谷 村 純 子	
45		舞	竹 内 浩 一	
46		朝 迎 (伊 吹 ・ 天 の 川)	寺 村 晴 雄	
47		止 っ た 時 間	眞 野 康 洸	



洋画部門

審査員：小灘 一紀 先生

鳥取県出身 大阪府堺市在住

1982 年	現代の裸婦展 入選
1992-95 年	日展 特選
1997 年	第11回日洋会展 井手宣通賞受賞
1999 年	第31回日展 審査員
2002 年	第34回日展 会員賞受賞
2012 年	古事記編纂1300年記念として鳥取・島根・大阪・東京等5箇所 で展覧会を開催
現 在	公益社団法人日展 会員 一般社団法人日洋会 理事 大阪芸術大学 客員教授 堺美術協会 会長 公益財団法人堺市文化振興財団 理事 日本・済洲島神話交流美術展 会長

＜総 評＞

全体的に身近かな風景、静物、生活を描いた作品が多く、日本人らしい自然感が表現されていて好感がもてました。昨年同様、水彩画に秀作が多かった。反面、対象の魂をえぐるような、熱情のある表現が少なかった。



■ 市展賞 ■

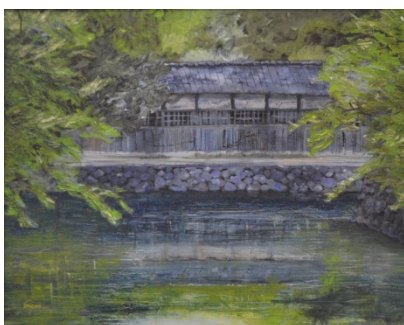
「初秋」 川瀬 加代子

逆光の花が柔かい日射しとともに美しく描かれ、情感あふれる作品となった。



■ 特選 ■ <京都新聞賞>
「青の時」 中野 裕子

青い色調のビンが心よいハーモニーをかもし出していて、水彩画の美しさがよく表現されている。



■ 特選 ■ <国際ソロプチミスト彦根 会長賞>
「石垣の路」 江竜 美子

新緑と古い建物の対比によって、画面が一層水々しい表現となっている。情感あふれる秀作である。



■ 特選 ■ <彦根市教育委員会 教育委員長賞>
「深緑の無限庵」 広瀬 巖

昔の建物と庭の入口、静寂な時間の情景が、作意のない描き方で情熱を持って描かれている。



■ 特選 ■ <朝日新聞社賞>
「収穫のとき」 渡辺 康雄

収穫されたばかりのタマネギの色彩とグレイの配色が美しく、畑の中で見つけた詩とも言える。



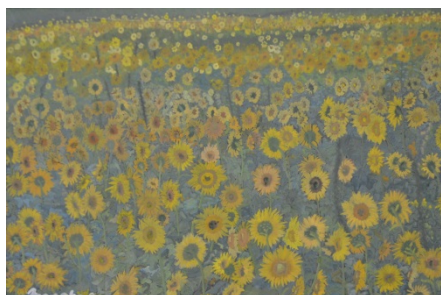
■ 特選 ■ <読売新聞大阪本社賞>
「おつかれさん」 川口 昭次郎

使い終えた数々の樽。美は身近かなところにあることを絵画は教えている。



■ 特選 ■ <平和堂財団 理事長賞>
「光景」 北川 暁子

重厚な絵の具の塗り方で小品だが、油彩画の持つ実在の表現が美を生み出している。



■ 特選 ■ <彦根商工会議所 会頭賞>
「向日葵」 宮地 正子

無数のヒマワリの花の構成が新鮮である。今後の作風に期待したい。



■ 無鑑査奨励賞 ■
「夏の午後」 福原 善行

長年、研究してきた油彩画技法で、すごみがある表現となった。色調も抑制されて美しい。

洋画部門

展示場所：第1・2リハーサル室（グランドホール棟 2階）

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
1	無鑑査奨励賞	煌	上田 喜美子	無 鑑 査
2		深 ま る 秋	百々 修子	無 鑑 査
3		刻	久川 邦代	無 鑑 査
4		記 憶 の 中 で	小田柿 寿郎	無 鑑 査
5		白樺のあるペンション	押谷 たか子	無 鑑 査
6		思い出のピエロ人形	戸田 雅子	無 鑑 査
7		夏 の 午 後	福原 善行	無 鑑 査
8		花 菖 蒲	西澤 廣子	無 鑑 査
9		春 の 沖 島 漁 港	比喜多 利彌	無 鑑 査
10		人 物	石原 省吾	無 鑑 査
11		比 良 タ 景	島野 安子	無 鑑 査
12		ス ト ー ル を か け て	菅森 菜穂子	無 鑑 査
13		奏	今井 博子	無 鑑 査
14		三 島 池 の 春 景	土田 由一	無 鑑 査
15		雨 の 日 に	西脇 操	無 鑑 査
16		卓 の 景	嶋貫 佑一	委 嘱
17		バ ラ の 園	小灘 一紀	審 査 員
18		静	佐渡 一清	委 員
19		Pioneer Tree IVのエスキス	土屋 幸	委 員
20		泉 庭 朝 陽	中川 力三郎	委 嘱
21		お 遍 路 さ ん	久田 知恵子	無 鑑 査
22		想 い 出	吉岡 たみ子	無 鑑 査
23		祈りの中で(ヒロシマ)	北川 八恵子	無 鑑 査
24		湖 畔 早 暁	伊藤 稔	無 鑑 査
25	佳 作	山里の午後(彦根市善谷町)	山田 博子	
26		渓 流 瀑 / 犬 上	瀬戸口 園子	
27		いっぱい焼けてる！！	伊藤 寿美江	
28		庭 の 一 隅	磯野 公子	
29		陽 光	竹田 建行	
30		う さ ぎ お い し	辻 隆 子	

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
31	特 選	コ ン ポ ジ シ ョ ン	今 村 栄 子	国際ソロプチミスト彦根 会長賞
32		石 垣 の 路	江 竜 美 子	
33		梅 雨 晴 れ	塩 谷 雅 子	
34		朝 妻 の 入 江	森 野 幹 子	
35		読 み 聞 か せ	小 林 淑	
36		今 日 を 咲 く	小 泉 英 子	
37		晩 夏	碓 井 静 子	
38		至 福 の 時	八 木 清 子	
39		昭 和 の 余 韻	夏 川 郁 子	
40		愛 孫	関 寿 賀 子	
41		静 物 画	臼 田 健 人	
42		お 濠 の 粧 い	田 村 欣 実	
43		ギ タ ー マ ン	松 野 幸 恵	
44	佳 作 特 選	知 内 川 に て	村 山 義 幸	京 都 新 聞 賞
45		青 の 時	中 野 裕 子	
46		寄 り 道	小 田 柿 弘 子	
47	特 選	森 の 巨 木	藤 川 清 和	彦根商工会議所 会頭賞
48		向 日 葵	宮 地 正 子	
49		ハ ナ ノ キ (花 沢 町)	杉 原 慧 子	
50		世 界 遺 産 に 向 っ て	安 居 健 次	
51		た 。 ベ 。 ご 。 ろ 。	田 島 久 子	
52		蓮	竹 原 貞 子	
53		古 民 家	多 賀 た き 子	
54		夕 映 え の 玄 宮 園	児 玉 正 孝	
55		“いきいき田んぼ” は収穫祭	石 居 あ い 子	
56		風	中 村 修	
57		夏 め く	荻 田 明 美	
58	市 展 賞	初 秋	川 瀬 加 代 子	
59		の あ	小 林 知 恵 子	
60		雪 山	若 林 一 男	
61		ぶ ら り 。 元 町 界 限	宮 田 治 男	
62		結 実	西 村 利 孝	

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
63	特 選	私 の ネ コ で す	中山 ます江	読売新聞大阪本社賞
64		夏 の 終	古川 文雄	
65		た そ が れ の 菅 山 寺	川本 京子	
66		お 社 の 片 隅	兒玉 照子	
67		赤 兎 山	菰田 義博	
68		画 室 の 一 隅	加納 玲子	
69		毒 × 毒	森島 拓美	
70		船 溜 ま り	山田 寅之助	
71		陽 だ ま り の 午 後	小松原 正二	
72		お つ か れ さ ん	川口 昭次郎	
73		伊 吹 山 の 見 え る 蓮 池	大久保 恭子	
74		廃 屋	北 川 彰	
75		旅 先 の 店 II	執 行 明 美	
76		六 月 、 庭 先 に て	辻 廣 之	
77		櫓 へ の 橋	百 田 勝 彦	
78		清 流	北 川 晴 子	
79		は よ お い な い	増田 美代子	
80		森 の 彩	正木 喜八郎	
81		春 の 詩	喜多 善一郎	
82		囲 炉 の 一 時	片岡 太助	
83		溪 谷 の 輝 き	川村 嘉則	
84		新 緑 の 頃	大橋 好子	
85		彦 根 城 表 門 橋 と 桜	野坂 喜則	
86	特 選	深 緑 の 無 限 庵	広 瀬 巖	彦根市教育委員会 教育委員長賞
87		光 景	北 川 暁 子	平和堂財団 理事長賞
88		旅 籠	竹 内 圭 子	朝 日 新 聞 社 賞
89	特 選	幼 い 頃 の 想 い 出	中 野 正 雄	
90		太 鼓 門 櫓 (彦 根 城)	宮川 さと子	
91		収 穫 の と き	渡 辺 康 雄	
92		追 想	丸 山 恭 子	
93		琵琶 湖 に て	坂東 美代子	
94		う ね り	木 村 俊 綺	

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
95	佳 作	一 人 の 午 後	西 野 和 子	
96		湖 畔	栗 嶋 育 子	
97		昨 日 の 雪	稲 葉 す が 子	
98		石 積 の 町 、 坂 本	目 戸 て る よ	
99		がんばったヨ！（子供御輿）	磯 部 幸 子	
100		里 山	堀 畑 末 一	
101		中 山 道 （ 柏 原 宿 ）	青 根 健 二	
102		停 留	小 林 淳 二	
103		夕 映 え	坂 野 諒 子	
104		八 朔 の 舞 妓	西 村 利 彦	



彫刻部門

審査員：九後 稔 先生

京都府出身 大阪府箕面市在住

1992 年 第10回奈良市展 市展賞受賞
2003 年 第35回日展 特選受賞
2006 年 第38回日展 特選受賞
2014 年 改組 第1回新日展 審査員
現 在 公益社団法人日展 審査員
公益社団法人日本彫刻会 会員
大阪彫刻家会議 会員
箕面市美術協会 会長

＜総 評＞

今回は作品数が増え、多彩な表現が見られ、充実した展示になりました。一つひとつの作品に込められた作者の思いが感じられ、創作の喜びが伝わってきます。素材を生かした楽しさと、作品への熱い思いが魅力になっていると思います。



■ 市展賞 ■

＜滋賀県芸術文化祭奨励賞＞

「Mariko 1」 田中 亨

作品としての構成、造形力は卓越したセンスを感じさせ美しい。モデルの内面性も見事に描写しています。



■ 特選 ■ <近江同盟新聞社賞>
「我家の王様」 石原 不二子

量感もあり、力強い。モデルに対する熱い思いが素直に感じられて、温かみのある作品になっています。



■ 無鑑査奨励賞 ■
「シーズをはく少女」 石原 實

バランスの取れた立像で自然な流れの中に、人体の持つ美しさを感じます。

彫刻部門

展示場所：メッセホール（メッセホール棟 3階）

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
1	佳 作	道 化 士 （ ピ エ ロ ）	森 下 幹 夫	
2		山 ぶ ど う	富 永 光 男	
3		辰	曾 根 理	
4		角 竜 . トリケラトプス	三 浦 正 夫	
5		中国敦煌壁画菩薩（胸像）	秋 口 亭 々	
6		祈 り	廣 田 長 弘	
7		華	九 後 稔	
8	市 展 賞	M a r i k o 1	田 中 亨	審 査 員 滋賀県芸術文化祭奨励賞
9	無鑑査奨励賞 特 選	枯 木 に モ ブ	田井中 伊久夫	
10		ジ ー ン ズ を は く 少 女	石 原 實	無 鑑 査 近江同盟新聞社賞 委 員 委 員
11		我 家 の 王 様	石原 不二子	
12		湖 波	志 萱 州 朗	
13		ゆ か た の き み	小 谷 政 雄	
14		井 の 中 の 蛙	三 場 隆	
15		万 華 の 里	藤本 喜一郎	



美術工芸部門

審査員：安田 佳代 先生

京都府出身 甲賀市在住

1972 年	日本現代工芸美術展 初入選
1977 年	日展 初入選
1987-99 年	現代女流美術展 招待出品
2001 年	日本現代工芸美術展 40 回記念賞受賞
2002 年	日展 特選受賞
2005 年	日展 特選受賞
2009 年	MIHO MUSEUM 秀明文化賞受賞
現 在	公益社団法人日展 会友 一般社団法人現代工芸美術家協会 本会員 公益社団法人日展 委嘱 甲賀匠の里 陶芸教室 指導

＜総 評＞

色々なジャンルがあり、個性豊かな表現に大変楽しませてもらいました。今後
も人の心を訴えるような作品を作り続ける事を望みます。



■ 市展賞 ■

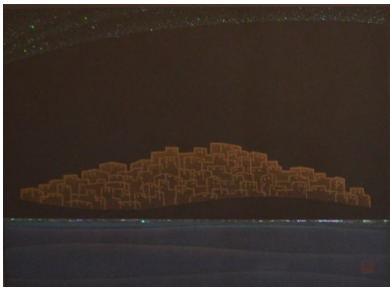
「馬鹿仕合」 吉田 文彦

切り絵独得のきれいな線が出ており、ユニークなイメージが伝わってきます。



■ 特選 ■ <中日新聞社賞>
「無題」 福永 威

力強く、目をひきつけられる作品です。



■ 特選 ■ <滋賀彦根新聞社賞>
「漂邑」 舟越 一生

漆の表現が大変きれいにできていて、見とれてしまう作品です。



■ 特選 ■
<BBCびわ湖放送賞>
「茶の間」 吉田 佐代子

一人ひとりの顔の表情の違いを陶器で表現し、ほのぼのとした気持ちにさせられた作品です。



■ 無鑑査奨励賞 ■
「COUPLE（語り合い）」 大富 由盛

落ち着いた釉薬と形で心を和ませしてくれる作品です。

美術工芸部門

展示場所：第3研修室（メッセホール棟 2階）

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
1		山 水	田井中 新次	
2		懐かしいお茶の間	近藤 秀明	
3		海 II	いとうけいろう	無 鑑 査
4		落 葉	長谷川 幸子	無 鑑 査
5		ある日の玄宮園	川端 澄代	委 員
6		彦根屏風五扇「廓の景」	國門 登美恵	
7		残 照	廣野 恭子	委 員
8		陶芸（茶碗）	藤田 始宏	
9		軍 鶏	山田 隆夫	
10		観 音 菩 薩	西川 一男	
11		彦 根 城	藤本 寿賀子	
12		吉野龍田図屏風より 狩野常信筆	谷本 佳代子	
13	佳 作	牡 丹	松宮 陸朗	
14	佳 作	春 が 来 た	中島 暉枝	
15	市展賞	馬 鹿 仕 合	吉田 文彦	
16	特 選	漂 邑	舟越 一生	滋賀彦根新聞社賞
17		初 夏	田中 保美	
18		花 の 饗 宴	安田 香代子	
19		能 面 景 清	田 口 実	
20		刺繍「百済寺紅葉」	古 川 勇	
21		城 の ある 風 景	古野 信子	
22		ク リ ス マ ス の 灯 り	井上 禎子	
23		残 り 13 秒	三 場 隆	
24		オリベ仕上げ編目文角皿	中川 眞澄	
25		井筒屋五代目 中村時蔵演じる藤屋都	秋 口 亭々	
26		う さ ぎ （ 絵 鉢 ）	山 本 忍	
27		切り絵いっぱいのお魚達	山 本 勝彦	
28		赤 茶 碗	江 竜 正徳	
29	特 選	茶 の 間	吉田 佐代子	BBCびわ湖放送賞
30		は ば た き	古 川 良江	

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
31	無鑑査奨励賞	カ ー ニ バ ル	西 江 康 子	無 鑑 査
32		左 午	樋 口 照 美	
33		武 家 の 備 え	山 口 四 郎	
34		COUPLE (語 り 合 い)	大 富 由 盛	
35		風 紋	北 村 久 美 子	
36		花 入 れ	佐 々 哲 三 郎	
37		水 辺 の 花	安 田 佳 代	
38		世 界 の 平 和	廣 田 長 弘	
39		秋 の 彩 り	奥 村 小 夜 子	
40		落 葉 の ハ ー モ ニ ー	小 杉 明 生	
41	佳 作	水 指	夏 原 久 美 子	審 査 員
42		デルフトの思い出	曾 我 伸 子	
43		Forest 生命の慈しみ	木 伏 登 志 子	
44		湖 辺	伊 藤 美 子	
45		想	舟 越 弘 子	
46		無 題	福 永 威	
47		“ いや しの あ か り ”	平 田 昭	
	特 選			無 鑑 査 中日新聞社賞



書 部 門

審査員： 疋田 惜陰 先生

滋賀県出身 大津市在住

日展入選 31回 など

現 在 公益社団法人日展 会友

読売書法会理事・審査員

謙慎書道会常任理事・審査員

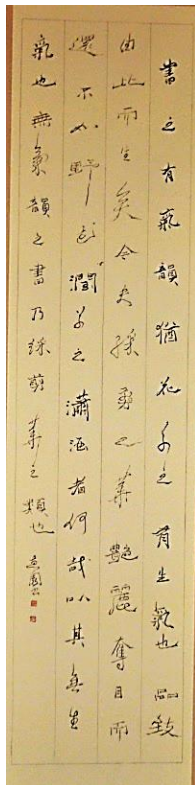
＜総 評＞

彦根の文化水準の高さと、書に対する熱意が感じられる活気あふれる会場となった。若い人達の出品も増え、将来に夢が持てる。今回会場の都合で展示出来なかった作品の中にもすぐれたものも多く、次回を期待したい。

■ 市展賞 ■

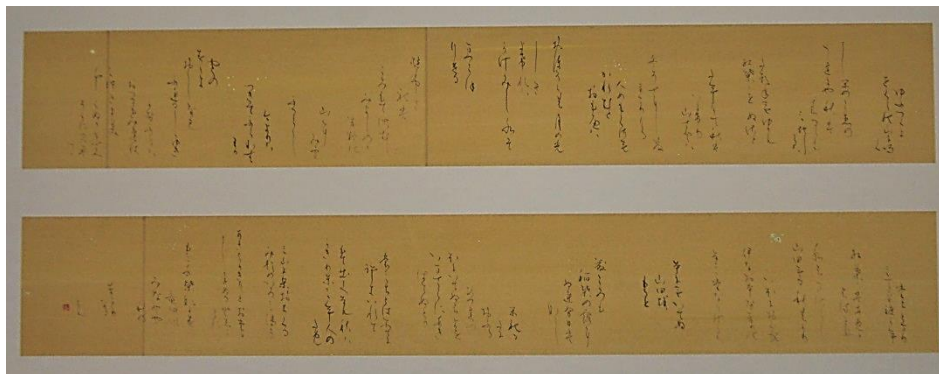
「梧竹堂書話」 細溝 恵

細い線ながら粘り強い書きぶりに好感が持てる。全体の構成もすぐれている。

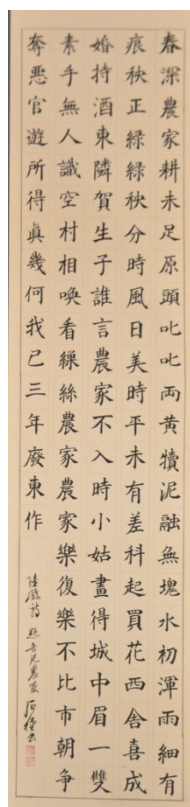


■ 特選 ■ <彦根青年会議所 理事長賞>
「竜田川」 森野 美佐子

全体の流れ、線質、料紙など細部に心をくだいた作。墨色も冴え美しい。

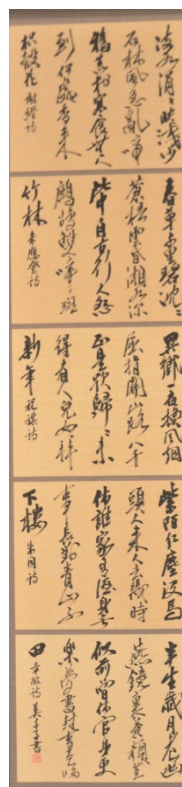


■ 特選 ■ <彦根ライオンズクラブ 会長賞>
「陸游詩 岳地農家」 小林 由喜枝



一文字一文字
を丁寧に書き、
練度の高さを感
じさせる秀作。
すっきりとした
構成が見事

■ 特選 ■ <彦根文化新聞社賞>
「明詩五種」 佐野 美千子



一枚一枚完
成度が高く、
しっかりと書
けている。茶
系の紙の色と
よくマッチし
美しい。

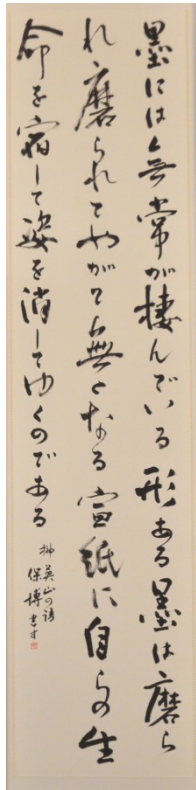
■ 特選 ■

＜彦根南ロータリークラブ 会長賞＞

「墨」

川崎 保博

漢字とかな文字とのバランスがよく、すっきりとしたまとまりである。墨量の変化もよい。

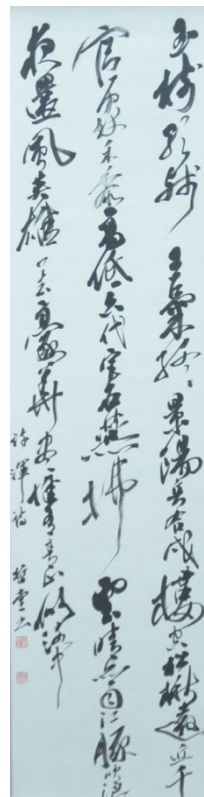


■ 無鑑査奨励賞 ■

「許渾詩」

中村 哲

文字の大小、肥瘦、強弱など全体を丁寧にとめ上げた。表具とのバランスも美しい。



書 部 門

展示場所：メッセホール（メッセホール棟 3階）

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
1	佳 作	臨 ・ 何 紹 基	角田 百合菜	次世代芸術奨励賞
2		臨 ・ 王 鐸	楠 木 飛 鳥	
3		臨・巖谷一六前赤壁賦	島 田 光 季	
4		臨・米芾・苕溪詩卷	岡 川 夏 実	
5		臨・日下部鳴鶴・岸田翁碑	加 田 絢 美	
6		臨 ・ 王 鐸	三崎 友理香	
7		臨・空海風信帖	高 木 舞 香	
8		臨・文徵明雜花詩	西 川 真 咲	
9		臨・日下部鳴鶴・谷川氏碑	三宅 璃加子	
10		臨・雁塔聖教書	小川 ひかり	
11		臨・顔真卿・建中告身帖	山 本 千 秋	
12		臨 多 宝 塔 碑	磯部 紗耶花	
13		萩 の 花	山 口 紗 稀	
14		ほ お す き	堀 汐 里	
15	無鑑査奨励賞	この世でこよなく美しきもの	川 村 啓 子	無 鑑 査
16		お と に き く	安 居 孝 昌	無 鑑 査
17		雪	堤 豊 宏	無 鑑 査
18		無 心	押 谷 達 彦	無 鑑 査
19		劉 長 卿 詩	山 田 祥 代	無 鑑 査
20		お く の ほ そ 道	後 藤 有 啓	無 鑑 査
21		許 渾 詩	中 村 哲	無 鑑 査
22		李 賀 詩	足 田 惜 陰	審 査 員
23		千 字 文 之 六 言	高 萩 有 子	委 員
24		金 子 み す ず 詩 五 編	内 西 謹 子	委 員
25		宮 澤 賢 治 の 詩	西 脇 大 雄	無 鑑 査
26		白 雲	岡 野 有 泉	無 鑑 査
27		山 村 暮 鳥 の 詩	安 田 祥 代	無 鑑 査
28		鄭 板 橋 詩	北 川 依 子	無 鑑 査
29		紀 友 則 の う た	竹 中 千 代 子	無 鑑 査
30		天 衣 無 縫	圓 城 貴 子	

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
31	佳 作	明 詩 五 種	近 藤 晄 彦	
32		野 塘 の 詩	山 口 健 作	
33		漢 詩 句	筒 井 和 彦	
34		石 田 東 陵 の 詩	内 堀 政 子	
35		近 江 八 景 和 歌	諸岡 富美子	
36	特 選	墨	川 崎 保 博	彦根南ロータリークラブ 会長賞
37		千 字 文 二 句	福 居 順	
38		両 岸 芙 蓉	遠 藤 啓 子	
39		鄭 谷 詩	疋 田 礼 子	
40		李 白 詩	川 村 圭 子	
41	特 選	王 維 詩	望 月 千 舟	彦根文化新聞社賞
42		明 詩 五 種	佐野 美千子	
43		吹 笛	松田 江美子	
44		王 維 詩	寺 村 則 子	
45		陸 游 詩	小林 由喜枝	
46	特 選	李 白 詩	森 直 子	彦根ライオンズクラブ 会長賞
47		王 維 詩	成 宮 ま き	
48		臨 ・ 張 瑞 図	中 村 美 友	
49		臨 ・ 米 芾	小 城 美 奈	
50		臨 董 其 昌	富 永 燦 子	
51	佳 作	臨 金 冬 心	澤村 保奈美	次世代芸術奨励賞
52		臨 張 瑞 図	宮 本 真 衣	
53		臨 楊 峴	三 上 朋 華	
54		粘 葉 本 和 漢 朗 詠 集	高 原 飛 水	
55		さ を し か の 声	堤 笑 子	
56		川 流 不 息 淵 徴 取 暎	西 臺 紅 峰	
57		司 空 曙	上 條 翠 波	
58		無	改 崎 瑞 紀	
59		静 寂	大 塚 春 華	
60		棕 櫚 の 影 に	江 竜 美 子	
61		陽 光	山 藤 歩 未	
62		源 氏 物 語 夕 顔	川 本 経 子	

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
63	市 展 賞 特 選	森	松 浦 幸 伽	彦根青年会議所 理事長賞
64		黄 庭 堅	杉 本 栄 子	
65		心 の 叫 び	長 瑞 姫	
66		梧 竹 堂 書 話	細 溝 恵	
67		竜 田 川	森野 美佐子	
68		西 行	金子 はま子	
69		臨 東 方 朔 画 賛	下 村 菜 月	
70		臨 ・ 張 猛 龍 碑	永 井 祐 奈	
71		松 尾 芭 蕉 の 句	若 林 里 歩	
72		秋 雨	小 野 綺 紗	
73		臨・藤原行成 白氏詩巻	大 橋 亜 弥	
74		氷 心 在 玉 壺	山 下 明 宏	
75	佳 作	島 木 赤 彦 の 短 歌	村 岸 恵 美	
76		和 泉 式 部 の 歌	田 中 八 重 子	



写真部門

審査員：原田 文裕 先生

徳島県出身 大阪府八尾市在住

2009 年 瑞宝単光章 受章

2011 年 個展「露子の生家」

2012 年 個展「興正寺別院」

2013 年 個展「寺内町賛歌」

現 在 大阪府写真技能士 主席検定委員

公益社団法人日本広告写真家協会 学術会員

一般社団法人日本写真文化協会 会員

一般社団法人露香会 理事

学校法人日本写真映像専門学校 前校長

＜総 評＞

偏りのない多彩な作品群でした。地元の作品が多いのも感動的で、地元の人でしか撮れない作品創りを標榜、研究することで更に表現の枠が広がることでしょう。高校生等若い人達の写真を通じてのメッセージ、心の表現に期待したいものです。



■ 市展賞 ■

「麦秋」 夏川 宗一

見事な麦秋、倒れた麦の有り様に燎原の火がイメージされます。色彩、トーン、白鷺のアクセントと申し分ありません。



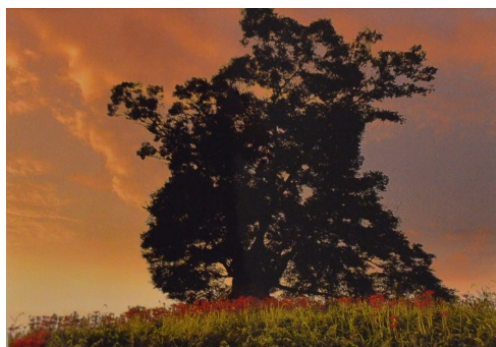
■ 特選 ■ <KBS京都賞>
「ドキドキ ワクワク」 瀧波 博之

展望台から下を興味深く眺める子供の仕草が絶妙のフレーミングとシャッターチャンスで捉えられた三次元的作品



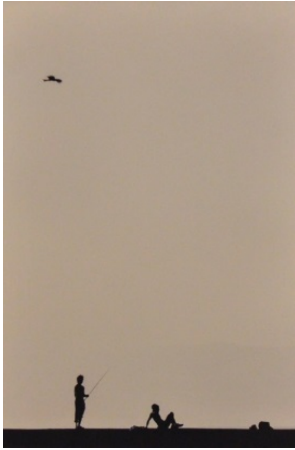
■ 特選 ■ <NHK大津放送局長賞>
「ビル街に映える」 伊藤 治

市街地に架かった虹が、手前の影により一層鮮やかに表現されました。横長の矩形も効果的です。



■ 特選 ■ <彦根ロータリークラブ 会長賞>
「神木への祈り」 若林 武司

シンプルで大胆な構図ですが、夕照の雲の表現がドラマティックで、物語を感じる作品です。



■ 特選 ■ <エフエムひこね賞>
「たそがれ」 廣田 由行

堤防の2人のポーズと配置、大きく取り入れた空に舞う鳶、のどかな光景。

色彩を廃した白黒表現により空間が際立ちました。



■ 特選 ■ <産経新聞社賞>
「神を見る モンブラン」 塩谷 勉

勇壮、迫力を感じる作品。新雪と岩肌、湧き立つ雲と背景の空の青との対照、透明感があり、見応えがあります。



■ 特選 ■ <彦根タイムス社賞>
「火祭り」 澤田 賢二

裸の若い男衆がぶつかり合う祭のクライマックス。背景の炎と煙、赤と黒の画面構成に共感



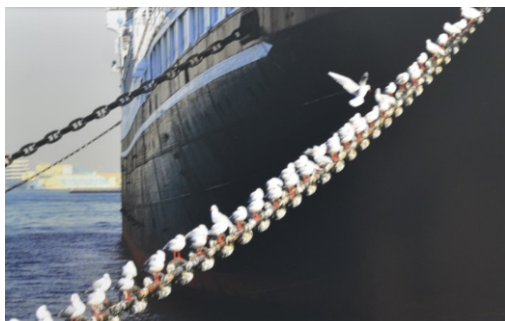
■ 特選 ■ <彦根みずほライオンズクラブ 会長賞>
「ホタルの里」 相田 行雄

川を中心に乱舞する蛍。蛍の生態を的確に表現されています。川面の中央にもう少し多く飛んでいれば更に良かったでしょう。



■ 特選 ■ <彦根観光協会 会長賞>
「紅彩の間」 佐竹 鉄次郎

紅葉を背景に経を読む僧侶。絶好のモチーフです。右を柱より、床面を少しカットすることで^{ひろ}宙がりを表現できたのでは…。



■ 無鑑査奨励賞 ■
「ただいま満席」 小椋 俊道

船からの鎖に整然と並んだカモメに驚かされます。その光景で一羽が飛び寄り添う位置が絶妙で、見事なシャッターチャンスです。印象的な作品です。

写真部門

展示場所：展示ロビー・視聴覚室（メッセホール棟 1階）

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
1		対 峙	原 田 文 裕	審 査 員
2		朝 霧 の 池	中 村 一 雄	委 員
3		熱 砂	山 口 善 一	委 員
4	市 展 賞	麦 秋	夏 川 宗 一	
5	特 選	ドキドキ ワクワク	瀧 波 博 之	K B S 京 都 賞
6	特 選	ビル街に映える	伊 藤 治	NHK大津放送局長賞
7	特 選	神 木 へ の 祈 り	若 林 武 司	彦根ロータリークラブ 会長賞
8	特 選	た そ が れ	廣 田 由 行	エフエムひこね賞
9	特 選	神を見るモンブラン	塩 谷 勉	産 経 新 聞 社 賞
10	特 選	火 祭 り	澤 田 賢 二	彦根タイムス社賞
11	特 選	ホ タ ル の 里	相 田 行 雄	彦根みずほライオンズクラブ 会長賞
12	特 選	紅 彩 の 間	佐 竹 鉄 次 郎	彦根観光協会 会長賞
13	佳 作	華 や か な 舞	加 納 久 男	
14	佳 作	ファンタジア「森」	今 村 達 雄	
15	佳 作	新 興 住 宅 の 夜 明	速 水 健 司	
16		新 緑 萌 え る	石 井 勝 男	
17		夕 日 の 丘	里 見 金 三	
18		錦 秋 の 尾 根	田 中 信 義	
19		都 会 の 影	吉 原 正 興	
20		水 車 と バ ル ー ン	居 原 田 順 治	
21		川 下 り	中 川 清	
22		伊 庭 の 坂 下 し	河 分 武 士	
23		揃 っ て お で か け	池 淵 淳	
24		朝日の佐和口多聞櫓（彦根城）	岩 田 詩 朗	
25		彦 根 万 灯 流 し	門 野 久 昭	
26		初 夏 の 田 園	保 永 重 治	
27		国 宝 彦 根 城	松 井 秀 夫	
28		天 高 く 泳 げ ！	二階堂登美子	
29		飛 来	若 松 庄 三	
30		伝 統 を 継 ぐ	鈴 村 栄 子	

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
31		古 民 家	林 武 男	
32		花 の 命 は 短 く て …	白 井 展 枝	
33		春 雪 花	本 田 義 則	
34		里 の 秋	白 井 逸 人	
35		気 合	脇 規 子	
36		晩 秋	湯 淺 由 美 子	
37		石 の 上 に も 小 さ い 秋	竹 山 兵 三	
38		祭 り の 精	北 川 蓉 子	
39		C r y	岸 辺 剛	
40		潮 ひ い て	強 力 美 津 雄	
41		斜 陽 の 溪 谷	青 山 敬 子	
42		黎 明 を 待 つ	大 島 喜 八 郎	
43		S A K U R A	馬 淵 捨 次 郎	
44		休 息 の ひ と 時 に	砂 崎 進	
45		迫 力 の 山 岳 鉄 道	嶋 田 加 代 子	
46		た ・ い ・ く ・ つ	新 谷 敦 子	
47		甲 賀 祇 園 祭	高 村 利 和	
48		一 瞬	三 橋 武 男	
49		薩 摩 浜 か ら の 花 火	西 川 平	
50		力 走	桂 川 知 富	
51		蘇 洞 門 奇 岩	沢 田 初 枝	
52		雨 乞 い の 刻	小 川 武 司	
53		甲 斐 春 景	越 智 重 春	
54		残 照	小 林 三 郎	
55		紅 葉	上 林 正 幸	
56		夕 映 え の 湖 面	清 水 博	
57		光 彩	小 笠 原 勇	
58		初 冬	清 水 哮	
59	無鑑査奨励賞	た だ い ま 満 席	小 椋 俊 道	無 鑑 査
60		幽 玄	堀 居 宏	無 鑑 査
61		干 潟	堀 喜 久 夫	無 鑑 査
62		池 塘 の 朝	北 村 勝	無 鑑 査

展示No.	賞	題 名	氏 名	備 考
63		風 の い た づ ら	山 川 勝 治	無 鑑 査
64		秋 光 シ ャ ワ ー	鈴 木 秀 人	無 鑑 査
65		輝 く 水 面	石 丸 孝	無 鑑 査
66		灯 明	池 田 誠	無 鑑 査
67		閑 日	和 田 正 吾	無 鑑 査
68		秋 の タ 暮 れ	大 前 岳 雄	無 鑑 査
69		石 垣 の 夏	葛 山 善 基	無 鑑 査
70		乗 鞍 岳 天 望	北 坂 仁 郎	無 鑑 査
71		城 壁	武 田 吉 正	無 鑑 査
72		厳 冬 に 耐 え る	北 坂 節 子	無 鑑 査
73		螺 旋	大 久 保 和 彦	無 鑑 査
74		ジュゴン ゲ ッ ト	三 島 康 嗣	無 鑑 査
75		豪 炎	宮 西 新 市	
76		ひ い ら ぎ の 森	藤 川 清 和	
77		彩	福 本 和 男	
78		A t r i u m	藤 野 保	
79		夏 山 の 彩	田 中 松 子	
80		蜜 を め ざ し て	渡 邊 昭 夫	
81		襲 来	小 林 守	
82		紺 青 の 流 れ	正 木 喜 八 郎	
83		興 味 津 々	田 島 龍 幸	
84		秋 風 を 感 じ て	小 菅 正 一	
85		輝 や い て	小 林 伊 三 夫	
86		冬 の 交 差 点	山 口 銀 治	
87		託 す	中 原 純 子	
88		花 の お と づ れ	林 田 栄 一	
89		一 番 列 車	高 原 嘉 一	
90		見 い ー つ け た ！	松 木 喜 代 司	
91		暖 か あ ー い ！ ！	品 居 九 一 郎	
92		ボクの方が高いよ！	伊 藤 直 良	
93		漂 う 雲 海	森 下 繁 雄	
94		山 村 に 生 き る	津 田 吉 彦	

展示No	賞	題 名	氏 名	備 考
95		冬 の 到 来	下 島 耕 治	
96		天 湖 染 ま る	小 城 啓 介	
97		希 望 へ	宮 尾 克 子	
98		樹 映	元 持 誠	
99		晩 秋 の 祈 り	前 河 栄 次	
100		彼 岸 終 美	了 戒 裕 視	
101		鳴 く	河 崎 彰	
102		疾 走	中 川 良 次	
103		秋 の 小 枝	林 由 之	
104		火 祭 り に 駈 け る	北 村 秀 世	
105		朝 日 に 薫 る	宮 下 重 和	
106		森 の 造 形	近 野 恭 美	
107		終 演	近 野 光 生	
108		朝 の 道 頓 堀 川	川 口 昭 次 郎	
109		誰 か 止 め て く れ	酒 居 誠	
110		夕 照 の 舞 い	中 村 薫	



<資料>

出品数

	一 般	無 鑑 査	委 嘱 等	計
日 本 画	41	3	3	47
洋 画	80	19	5	104
彫 刻	11	1	3	15
美術工芸	40	4	3	47
書	69	12	3	84
写 真	150	16	3	169
計	391	55	20	466

入賞および入選数

	市展賞	特 選	佳 作	入 選	無鑑査 奨励賞	計
日 本 画	1	3	2	35	1	42
洋 画	1	7	3	69	1	81
彫 刻	1	1	1	8	1	12
美術工芸	1	3	3	33	1	41
書	1	4	4	52	1	62
写 真	1	8	3	79	1	92
計	6	26	16	276	6	330

審査員および委員

(敬称略・順不同)

	審 査 員	委 員	
日 本 画	竹 内 浩 一	寺 村 晴 雄	眞 野 康 洸
洋 画	小 灘 一 紀	佐 渡 一 清	土 屋 幸
彫 刻	九 後 稔	志 萱 州 朗	小 谷 政 雄
美術工芸	安 田 佳 代	廣 野 恭 子	川 端 澄 代
書	疋 田 惜 陰	高 萩 有 子	内 西 謹 子
写 真	原 田 文 裕	中 村 一 雄	山 口 善 一



第 63 回 彦根市美術展覧会 アートフェスティバル～美術と音楽のコラボ～



芸術の秋！美術展覧会期間中に様々な催し物(コンサート・講評会等)を開催します。
皆様のご来場をお待ちしています。

9月15日(月・祝)

入場無料

オープニングコンサート

【出 演】市立 西中学校・吹奏楽部
市立 南中学校・吹奏楽部
市立 彦根中学校・吹奏楽部

【時 間】14時00分～

【場 所】エコーホール



9月21日(日)

入場無料

会場コンサート

【出演】箏曲宮城会 藤野社(彦根箏曲連盟)

【時間】14時00分～

【場所】メッセホール



9月20日(土)

入場無料

ウェルカムコンサート

【出演】彦根児童合唱団

【時間】9時00分～

【場所】エコーホール



表彰式

【時間】9時30分～

【場所】エコーホール

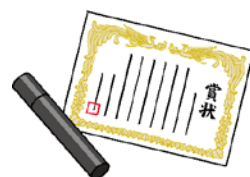
【内容】市展賞をはじめ、入賞された皆様へ表彰状の授与を行います。

作品講評会

【時間】11時00分～

【場所】各部門展示会場

【内容】部門ごとに審査員による作品講評会を実施します。



主催：彦根市、彦根市教育委員会

後援：彦根市議会、彦根商工会議所、公益社団法人彦根観光協会、公益社団法人彦根青年会議所
彦根ロータリークラブ、彦根南ロータリークラブ、彦根ライオンズクラブ、彦根みずほライオンズクラブ
国際ソロプチミスト彦根、公益財団法人 平和堂財団、 大津放送局、 びわ湖放送
KBS京都、朝日新聞大津総局、毎日新聞大津支局、読売新聞大津支局、中日新聞社、京都新聞
産経新聞社、78.2FM彦根、有限会社 近江同盟新聞社、彦根文化新聞社、彦根タイムス社、滋賀彦根新聞社

<順不同>

彦根市美術展覧会事務局

(彦根市教育委員会事務局 教育部 文化振興室)

〒522-0055 彦根市野瀬町 187-4

ひこね市文化プラザ・メッセホール棟 1 階

TEL.0749-23-7810 FAX.0749-21-3080

未来に残そう！

彦根城を 世界遺産に！

